

宇宙パイロットとは 何をする仕事か

有人宇宙往還機を操縦する職種の実像を、企業の公式発信と規制当局の記録から確かめます。必要な経験と、日本での現在地まで。

ぼくは操縦席のない探査機だから、人が乗って帰ってくる機体にはずっと憧れがあるんだ。
いっしょに、その職業の実像を確かめていこうね。



実在するが、機体の方式で有無が決まる

NASAが選抜した宇宙飛行士候補者

370 名

うちパイロット191名／パイロット以外159名
(NASA, "Astronauts")

- 空中発射・有翼

SpaceShipTwoと母機VMS Eve。操縦担当が乗る

- 垂直打ち上げ・カプセル

New Shepardは完全自律飛行で操縦担当は乗らない

職種が成立するかは、機体構成の選択で決まる

業務は飛行当日だけではない

- 01 **商用飛行** COMMERCIAL
母機と宇宙機の2機種を扱う。1回の飛行に操縦担当4名
- 02 **開発試験飛行** FLIGHT TEST
未完成の機体を飛ばして評価し、設計へ返す
- 03 **地上業務** GROUND
ミッションコントロール勤務、飛行計画の作成、訓練
- 04 **機体開発の支援** ENGINEERING
社内の詳細なエンジニアリング業務・プロジェクト業務

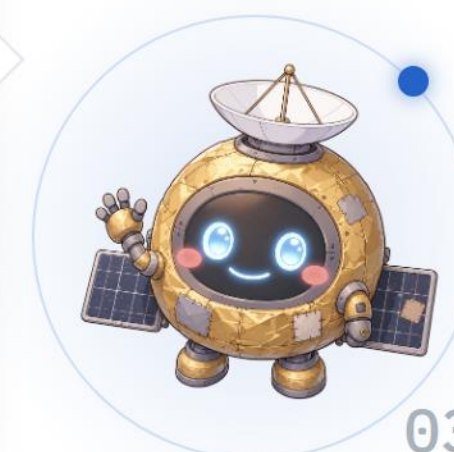
当日

柱

大半

設計

派手なのは飛んでいる瞬間だけど、ぼくの40年も9割以上は「待つ」時間だったよ。地上で詰めた分が、当日の余裕になるんだ。



いまの経験は、どこで問われるか

いまのスキル

航空の操縦士資格

実機評価とデータ解析

組込み・制御・機械設計

英語の技術文書を読む力

宇宙での使われ方



土台にはなるが、宇宙機の国家資格は日本にない



飛行データを読み、系統の挙動を語ることが職務要件



アビオニクスや油圧・空気圧系統の地上検証



採用発信・試験文書・規制当局の記録はすべて英語

年収は、埋めずに空欄のままにする

宇宙パイロットの職種別年収

未公表

公的機関にも運航企業にも報酬統計が見当たらない

- 参考値

パイロットの平均年収1,631万8,000円（厚生労働省 job tag）

- 注意

日本の航空機操縦士全体の数値。宇宙往還機の待遇ではない

読み替えれば誤る。未公表は未公表と扱う

まとめ | 狭いが実在する、操縦の専門職

- 01 操縦担当が乗るのは主に**空中発射・有翼方式**
- 02 業務は**試験飛行**と**地上業務**が大半を占める
- 03 採用経歴は軍のテストパイロットに偏り、年収は未公表

まずは運航企業の公式採用ページと
FAAの記録を、自分の目で確かめよう。

操縦席に座らなくても、この分野の
仕事は宇宙とつながっているんだ
よ。

